

編集・発行：五島壮一郎事務所  
電話：079-239-5841  
FAX：079-236-2282  
mail：info@s-goto.com  
HP：http://www.s-goto.com  
http://www.facebook.com/goto.soichiro.510

### 兵庫県議会議員

# 県政報告

平素よりの厚情に感謝申し上げます。県会議員として席をいただき3年目に入りました。この間、初心を胸に刻み、県民目線に立つて全力疾走を続けてきました。これからもアンテナを研ぎ澄まし、皆さまのご期待に応えていくことをお誓い申し上げます。

平成29年は、兵庫県知事選挙、衆院総選挙など国やふるさとのあり方と行く末を決する重要な選挙が相次ぎましたが、選ばれる責任と同時に選ぶ責任が注目されました。羅針盤なき時代であるからこそ、机上の空論や心地よい言葉に振り回されることなく、事象の本質を見極める大切さを痛感した次第です。

### 姫路城を核に魅力あるツーリズムを

さて、平成30年7月には、県政150年を迎えます。時代の荒波を乗り越えてきた先人の足跡に思いを寄せ、未来に受け継いでいくべき兵庫のあるべき姿をどう描くのが問われています。県では、今後の兵庫づくりの目標となる「2030年の展望」の策定を急いでいます。地域創生を視野に、県民と夢と未来を共有できる内容を期待したいものです。ふるさと姫路のシンボルであり、市民の心の拠り所ともいえる姫路城が、ユネスコ世界遺産に指定されて25周年を迎えます。城郭建



9月県議会の第337回定例会で質問に立ちました

## アンテナ研ぎ澄まし、これからも

築の粋を凝らした優美な姿は外国人観光客を魅了しています。県では、インバウンドの倍増を目指して「ひょうごゴールデンルート」を設定・提案し、インバウンド観光ブランド力の向上を図っています。姫路城を核とした魅力あふれるツーリズムの形成に全力を注ぐべきだと考えています。

また、東京五輪に向けた仏柔道チームの事前合宿が姫路で行われることになりました。フランス柔道の父と呼ばれる川石酒造之助は姫路出身であり、代表選手団との交流とホスピタリティで魅力を発信し、地域活性化の起

### スピードあふれる活動展開へ

爆剤とする絶好の機会です。

衆院選を終えて、第4次安倍政権が発足しました。自衛隊の存在を明記するといった憲法改正、消費税引き上げ財源の使途変更、さらには北朝鮮の脅威に備える国際連帯など重要課題が山積しています。「実るほど首を垂れる稲穂かな」の諺通り、丁寧な説明と熟議を尽くした国民的な合意形成に真摯に取り組むことが求められています。

市民の夢や願いに鋭敏に応えつつ、スピードあふれる活動をさらに展開することをお約束し、ごあいさついたします。

### プロフィール

- H12.3 姫路市立広畑小・中学校
- H15.3 兵庫県立姫路東高等学校卒業
- H19.3 岡山大学工学部卒業
- H27.1 電子機器メーカー勤務
- H27.6 兵庫県議会議員(1期目)
- H29.6 農政環境常任委員会 副委員長

(現在の代表的な肩書き)  
(一社) 兵庫県水質保全センター特別顧問、専門学校理事、兵庫県早朝野球連盟会長、吟道青少年健全育成協議会顧問、兵庫県相撲連盟顧問、自由民主党兵庫県第11選挙区支部青年部長、壮新会代表

### 県立はりま姫路総合医療センター(仮称)

## 2病院の統合再編で基本計画

### 南西部の後医療確保が重要に

県はこのほど、県立姫路循環器病センターと製鉄記念広畑病院の統合再編に向けた基本的な考え方をまとめた計画を策定しました。

名称は「県立はりま姫路総合医療センター(仮称)」とし、JR姫路駅東側の再開発エリア(姫路市神屋町)に整備されます。県立病院としては最大規模となり、病床数は救命救急センター44

また、統合後の姫路市南西部地域の後医療を確保することも重要となっております。(裏面に詳細)

## 農政環境常任委で副委員長に就任

平成29年6月の県議会定例会から、農政環境常任委員会の副委員長に就任しました。

常任委員会とは、本会議に提案された議案などを専門的に審査する機関で、農政環境のほか、総務、健康福祉、産業労働など7つのテーマで常時設置されています。

農政環境では、食料の安定供給や農林水産業の持続的発展、地域環境への負荷低減、自然環境の保全と再生などの問題を扱っており、重要な役割を果たしています。一方、翌年度の当初予



特別委員会での質問、予算案の審議、一般質問、医療・福祉施策などについて、また、9月県議会の第337回定例会では一般質問に立ち、「GAP(農業生産工程管理)の取り組み推進」「地域ぐるみの子育て支援」「電子マネー詐欺被害対策」などを取り上げ、早急な対応を求めました。

算を審査するため、特別に設けられる予算特別委員会にも参画し、「県立姫路循環器病センターと製鉄記念広畑病院の統合再編」「病児・病後児保育の充実」「高齢運転者対策」「駐在所の老朽化対策」「県道広畑青山線

裏面に予算特別委、一般質問を詳報!



平成 29 年度 予算特別委員会および一般質問の主な内容

2 病院の統合再編で

市南西部の後医療確保を

Q：五島壮一郎

県立姫路循環器病センターと製鉄記念広畑病院が統合再編された後、新たな医療空白地帯が生じることがないように、**姫路市南西部地域に急性期機能を有する医療機関を誘致することが重要**。兵庫県が責任を持って後医療の確保を進めていってほしい。

A：病院事業副管理者  
南西部地域の後医療確保は統合再編にあたっての大きな課題の一つと認識している。姫路市の協力を得ながら、製鉄記念広畑病院が担ってきた医療提供の確保を図っていくため、新病院の工事着手までに協議・調整していく。



現在、中播磨医療圏域外から関心を示す複数の医療機関があり、市や広畑病院と連携して進めているところである。

病児・病後児保育の充実

子育てしやすい環境に

Q：五島壮一郎

県は全国に先駆けて病児・病後児保育事業を推進しており、今後は質の高い病児保育を非施設型（訪問型）などを含めて提供していくことが求められる。

来年度は、**保育中に体調不良となった児童を一時的に預かる、ま**

たは病児保育施設などに送迎することを支援していく事業を実施する予定で、子育てしやすい環境整備につながることを期待できる。

A：こども政策課長  
病児・病後児保育は 26 市町 53 施設で実施され、来年度の新制度創設でよりきめ細やかな保育を実施し、利便性や稼働率向上の効果も見込んでいる。

A：こども政策課長

して認知機能の低下があると判断された場合、臨時の高齢者講習を受講しなければならないが、特に都市部で予約がなかなか取れず、受講まで数カ月待ちという状況にある。新制度を円滑に運営する方策が必要だ。

A：警察本部長  
必要な人員や講習用車両の整備などの予算を計上し、円滑に対応できるようにするほか、高齢者講習の受講枠拡大などを図りたい。

A：警察本部長

態では地域の安全・安心の象徴として誇りが持てなくなるのではないかと懸念する。

A：警察本部長

駐在所全体の 30.2%が建て替え基準年数を経過しており、平成 29 年度は県下で最も古い飾磨警察署八木駐在所など 4 カ所で建て替え整備を予定しているが、長寿命化の観点にも努めたい。



駐在所の老朽化進む

八木駐在所で建て替えも

Q：五島壮一郎

駐在所は県内 275 カ所に設置されているが、経過年数が 40 年を過ぎたものは 2 カ所、30 年以上は 60 カ所あって老朽化が進んでいる。建て替えは相当の費用が必要だが、**老朽化が進んでいる状**

GAP 認証取得

県が戦略的に誘導を

Q：五島壮一郎

農業者自らがほ場を観察して



農政環境常任副委員長として南あわじ市にある農産物の大型直売所を視察



リスクを最小限に抑え、安定した経営を行うことで産地や農作物への信頼性の確保、環境への配慮、事故防止等の対策が講じることが

できる GAP（農業生産工程管理）認証の取得は、2020 年東京五輪・パラリンピックで使う食材の調達基準でもあり、**生産者の取得に向けて県が戦略的に誘導していく必要がある。**

A：農政環境部長

認証と毎年の更新に多額の費用がかかるのが課題。国事業を活用した取得経費の負担軽減などで経営戦略に応じた支援をしていく。

広畑青山線の渋滞解消へ

4 車線のバイパス整備めざす

Q：五島壮一郎

県道 417 号広畑青山線では、八幡小学校前の交差点や京見橋西詰交差点付近で朝夕の通勤時間帯を中心に慢性的な渋滞が発生している。これを解消するため、臨海部から国道 2 号姫路バイパス姫路西ランプを結ぶ**広畑青山線のバイパス整備が進められているが、できるだけ早期の着工、供用開始を要望する。**

A：道路街路課長

区間は県道と久今宿線と姫路バイパスの姫路西ランプ間の 2.3 キロメートルで、4 車線バイパス整備を行う。用地取得は今年度末で約 9 割を終え、早期に整備効果を発揮させるため、まずは暫定 2 車線で供用する。



大規模工事となる J R 山陽本線との交差部は、J R 西日本との立体交差計画の協議・調整を進めており、来年度に具体的な設計を J R に委託する。

棚田踏切、茶ノ木踏切

渋滞緩和へ対策急ぐ

Q：五島壮一郎

J R 姫路駅と英賀保駅の間にある県道田寺今在家線棚田踏切は、1 日で約 350 本の電車が通過するため、平均約 4～5 分ごとに遮断機が下がり、自動車や自転車、歩行者があふれて危険な状況になる。また、J R 網干駅西側の太子御津線茶ノ木踏切は、J R 山陽本線と南北幹線道路が交差し、朝夕の通勤時間帯に慢性的な交通渋滞を引き起こしている。



県は平成 19 年に「踏切すっきりプラン」を策定したが、**棚田踏**



予算特別委員会で主に地域課題について質問しました

**切と茶ノ木踏切での渋滞解消に向けた取り組み状況をうかがう。**

A：道路街路課街路担当参事

棚田踏切では、組合施行の土地区画整理事業により、道路を地下化して踏切を除却する。現在、姫路市が詳細設計を進めるとともに、来年度に迂回路となる仮踏切工事に着手できるよう関係機関との調整を行っている。

茶ノ木踏切では、跨線橋を含むバイパス整備により、踏切を通過する自動車交通の転換を図る。現在、用地取得が約 9 割完了しており、引き続き早期完成に取り組む。